

すべての人の学びの場、心地いい居場所 そして世界を見つめる窓として ＼クレオ大阪の情報・図書コーナー／



クレオ大阪の各館に情報・図書コーナーがあるのをご存じですか？女性活躍や人権についての資料から、小説や実用書、絵本や児童書まで、幅広い資料が揃えられた情報・図書コーナーは、老若男女、障がいの有無にかかわらず、すべての人に開かれた知的な空間です。

心地いい学びの居場所

「情報・図書コーナーは、資料の閲覧や貸出サービスのほか、家、学校、職場以外で、安心して過ごせる場所として、多くの方にご利用いただいている」と語るのはクレオ大阪中央の館長・沢田薰さん。暮らしの中のちょっとした息抜きの場所として、子どもたちの安全な居場所として、生きづらさを抱える人が

地域社会とつながる場所として、気軽に越しいただきたいと話されます。蔵書数はクレオ大阪全館で約10万5千冊。平日は21:30まで開館しています。(子育て館は21:00まで)

「話題書だけでなく、女性の生き方や、働き方、性差別の問題など、一般の図書館とは少し違う視点での選書やテーマ展示を行っています。学びたい人、悩んでいる人が、視野を広げ、解

決の糸口を見つけられるような一冊に出会っていただければと考えています」と語るのは、事業推進課チーフで情報・図書コーナー司書の吉本康二郎さん。すべての人が暮らしやすい社会をめざすクレオ大阪の理念がギュッとつまつた知の集積地、そして誰もがゆるやかに人とつながることができる居場所が、この情報・図書コーナーなのです。

21:30までオープン!!

お仕事帰りに、自習室としても



一般図書館とは一味違う視点で
選書&テーマ展示



クレオ大阪全館あわせて10万5千冊が
お近くのクレオ大阪で借りられる



社会課題に目を向ける きっかけを

資料は「家族・パートナーシップ・子育て」「女性と仕事」「女性と社会事情」など、テーマごとに分類。暮らしや旅行に関する人気雑誌も並びます。随所にあるテーマ展示は、人権やジェンダー平等、DV・児童虐待、SDGs、パパと読みたい絵本、世界で活躍する女性に関する資料など、多岐にわたります。

さらに入り口横のギャラリーでは、ジェンダーギャップ、LGBT、子育てなどのテーマごとに最近の新聞の切り抜きを掲示。身近な地域コミュニティの話題から世界の動向までを知ることができます。「来館者の中には、クレオ大阪が男女共同参画センターと知らないで来られる方もいます。そんな方々にも、展示コーナーで男女共同参画に目を向けていただけだと思っています。社会に開かれた窓のような役割ですね」と吉本さんは話されます。

女性の活動記録の 貴重な資料も所蔵

クレオ大阪の前身は1962年に設立された大阪市立婦人会館。活動拠点を求める女性市民らが“一日一円募金運動”でお金を集め、設立資金として寄附したという歴史を持ちます。そんな大阪の女性たちが、地位向上をめざして活動した貴重な女性史の資料も、情報・図書コーナーには数多く保存されています。

「昔に比べると、表面的には男女格差は小さくなってきたように思えます。しかし世界的には日本は最低レベル。逆に格差が広がっている部分もあります。ジェンダー課題はそれだけ根深い問題なんですね。先人たちの活動の歴史を見ることで、これから日本そして世界のあるべき姿が見えてきます」と沢田さん。学びの場として、心地いい居場所として、そして世界を見つめる窓として、クレオ大阪の情報・図書コーナーは、すべての人に開かれています。

各館それぞれユニークな展示を開催！



親子でも、一人で楽しむ小学生も

子どもコーナーには、乳幼児向けの絵本から小学生向けの児童書まで充実しています。子ども用ベンチでゆったりと読み聞かせや読書タイムはいかが？



ティーンの悩みや夢に応える本棚

「つぼみ文庫」には、趣味やスポーツの本、職業や進路の本、国内外の作家によるヤングアダルト小説などが並びます。



絵本の世界を誰もが楽しめるように

目の不自由な子どもやおとなの方に、絵本の点訳本を貸し出しています。

協力:NPO法人てんやく絵本ふれあい文庫



本を話題にコミュニケーション

お薦めの本を紹介しあうビブリオバトルや、直感読みブックマークなど、初めての方も本を話題に楽しめるイベントを開催。



大阪市立婦人会館の模型



昭和30年代の婦人会館の事業記録簿



ガリ版で刷った当時の貴重な資料

